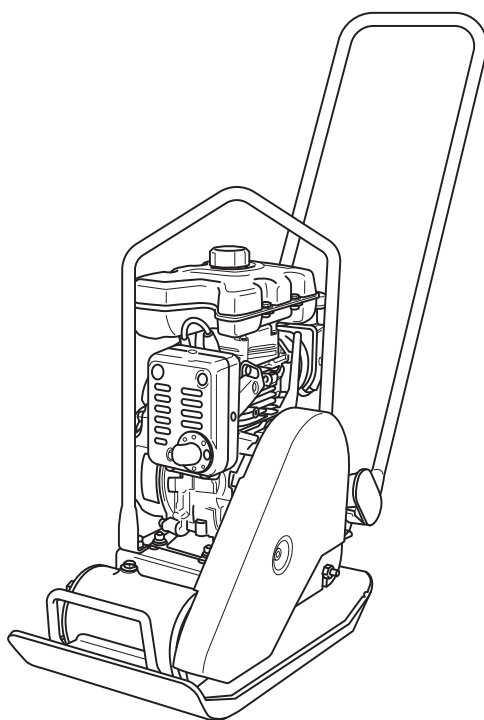


# MEIHO



取扱説明書

# ROAD MATE

メイホー・ロードメイト  
RM45C

●ご使用前に管理者・運転者はかならずお読み下さい。

# WAKITA MASALTA



## はじめに

このたび当社製品ロードメイトをお買い上げ頂き誠に有難うございます。

まず、次の点を確認して下さい。

- 機種は、御注文通りのものかどうか…
- 輸送中の事故で、破損していないかどうか…
- 付属品が全部そろっているかどうか…

もし、不具合な点がありましたら、製造番号と共に購入店または弊社支店・営業所へお知らせ下さい。

本機は建築工事・土木工事・道路工事の補助的の表面仕上げ  
および締固めをする機械です。  
他の目的で使用される時は弊社営業所に問い合わせして下さい。

**製品は取り扱いを誤ると、事故や故障の原因になります。  
ご使用前に本書を最後まで熟読して下さい。5分あれば読めます。**

- ロードメイトについてよくご存じの方でも、この製品独自の取り扱い方法がありますので必ずお読みいただいたうえでご使用下さい。
- 本書では、製品の正しい取り扱い方法や簡単な手入れ方法について記載してあります。
- 不明のところは製品の購入店または弊社支店・営業所におたずね下さい。

なお、製品の仕様等の変更により、内容が一部異なっている場合がありますのでご了承下さい。

---

※製品を譲られる場合は、次の運転者のために本書と一緒にお渡し下さい。



## 目 次

### 安全に関する表示

1. 安全作業のために..... 1
2. 各部名称と仕様..... 5
3. 始動と運転・停止..... 7
4. 故障対策・付属品..... 14

## 安全に関する表示

安全規則を守らない作業は重大事故の発生につながります。

製品の運転や日常点検の前には、必ずこの取扱説明書をよく読み、十分に理解して下さい。

本書および当製品で使用する安全に関する表示は、その内容や危険の度合いにより次のように使い分けてあります。

### ⚠ 危険

重大な人身事故もしくは死亡事故に至る切迫した危険が存在していることを示します。

メッセージには、危険の内容とその危険を回避するための予防措置が記載されています。

### ⚠ 警告

重大な人身事故もしくは死亡事故に至る可能性のある危険が存在していることを示します。

メッセージには、危険の内容とその危険を回避するための予防措置が記載されています。

### ⚠ 注意

人身事故もしくは製品の重大な破損に至る可能性のある危険が存在していることを示します。

メッセージには、危険の内容とその危険を回避するための予防措置が記載されています。

### 重要

製品の損傷や著しい性能低下を招く可能性のあることを示します。メッセージには、それらを回避するために守らなければならない注意事項が示されています。

当社では、あらゆる環境下における作業において起こりうるすべての危険を予測することはできません。したがって、本書に記載されている注意事項はすべてを網羅したものではありませんので、お客様の責任において、十分な注意を払って製品をご使用頂くようお願いいたします。

# 1. 安全作業のために

## 安全上の基本的注意事項

### 一般事項

安全運転のために、次のことがらを必ず守って下さい。

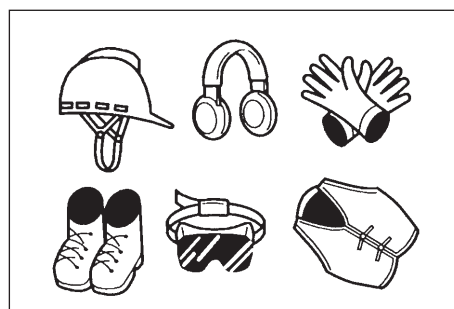
#### 1. 取扱説明書を読む

- 取扱説明書を良く読み理解するまで運転しないで下さい。  
誤った方法による運転操作は非常に危険であり、人身事故を起こす結果となります。
- 取扱説明書は常に保管し、本製品を取扱うすべての人が繰返し読むようにして下さい。
- 子供や説明をうけていない大人に運転させない様、注意して下さい。



#### 2. 安全な服装で！

- だぶだぶの服やネックレスなどは、作業レバーや他の突起物に誤ってひっかかる恐れがあります。  
傷害につながりますので着用しないで下さい。
- 作業に応じて保護メガネ、マスク、安全靴、手袋など作業に適した服装を着用して下さい。



#### 3. 排気ガスに注意

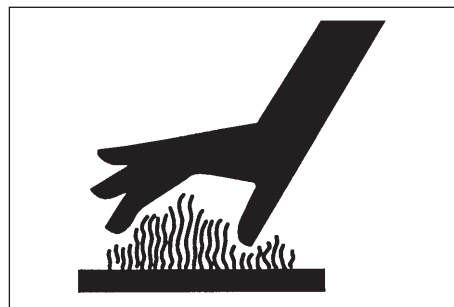
エンジンの排気ガスは有毒です。

- 建築基礎工事等の窪地で運転しますと排気ガスは底にたまりま  
す。ブロアーの排気管を地上に延長させる等の適切な換気をし  
て下さい。
- 屋内で運転するときはブロアーの排気管を屋外に延長させるか  
ドアや窓を開け、外気が十分入るよう適切な換気をして下さい。



#### 4. 高温注意

- 本機が停止していてもエンジン、マフラー、起振体ケースに触  
れないで下さい。  
操作中に高温になっているので触れると火傷の危険があります。



#### 5. 周囲の安全確認

- ロードメイトを運転するとき子供や動物など、関係のない者は  
遠ざけて操作して下さい。

## 6. 火気厳禁

燃料の無鉛ガソリンは引火し易いですから注意して扱って下さい。

- エンジンの運転中、燃料補給中、絶対に煙草を吸わないで下さい。
- エンジンの排気ガスは有害ですから注意して下さい。
- 燃料はこぼさないように補給し、もしこぼれたら十分ふきとって下さい。
- エンジンを停止し、冷却時間をおいてから燃料を補給して下さい。
- きれいな所で補給し、その場所をはなれて起動して下さい。
- 燃料は家の中とか熱器具の近くでない冷たい乾いた所に確実な容器に入れて保存して下さい。そして子供がいじらないようにかぎのかかる容器にして下さい。
- 燃料は、自動車用無鉛ガソリンを使用して下さい。
- 取扱説明書に指定している燃料以外は使用しないで下さい。
- 引火性の物から本機を 1m 以上離して下さい。



## 7. 長時間の運転に注意

一人で長時間連続運転しますと手、指、手首等身体に異常を来す恐れがあります。

- 不快感、痙攣、痛みを感じたら運転しないで下さい。

## 8. 一時中断、移動、長期保存時の注意事項

- 本機の作業を中断したり他の地区に移動するときは常にエンジンを止めて移動して下さい。  
——エンジンを作動したまま中断または移動するとき誤って调速レバーに触れ、本体が作動し、人身事故を引き起こす恐れがあります。——
- 燃料を入れたまま本機を保管しないで下さい。長期間保存するときは燃料をドレンから抜き安全な場所に移しエンジンが十分冷えてから格納して下さい。  
——燃料を入れたまま長期間保存しますと火災の原因になることがあります。——



## 9. 安全作業かつ製品寿命を延ばすために

- 使用前（使用后）機材を清掃して下さい。特に燃料を補給する前に蓋のまわりと蓋を十分に掃除して下さい。気化器のエアークリーナーは定期的に掃除して下さい。
- 不注意な気化器の調整は気化器だけでなくエンジンもだめになりますから注意して下さい。
- 本機を止めるときは调速レバーを低速にしてからエンジンストップスイッチを停止側（○）にして下さい。緊急事態に備えて、迅速な停止方法の知識を再確認して下さい。
- 常に各部のボルト・ナットにゆるみがないか確認して使用して下さい。
- マフラーを取外した状態で運転しないで下さい。
- エンジンオイルが入っているか確認して下さい。

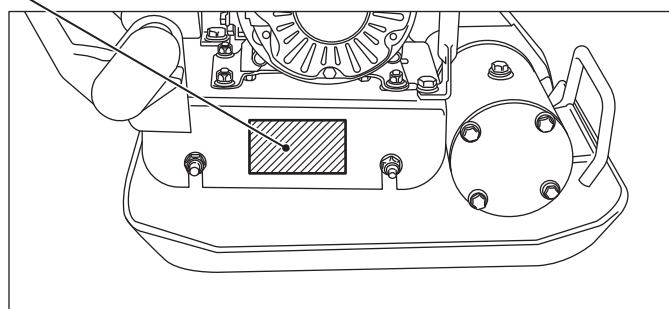
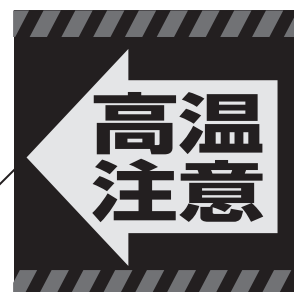


## 10. 改造の禁止

保証の適用外になりますので、無断で改造しないで下さい。

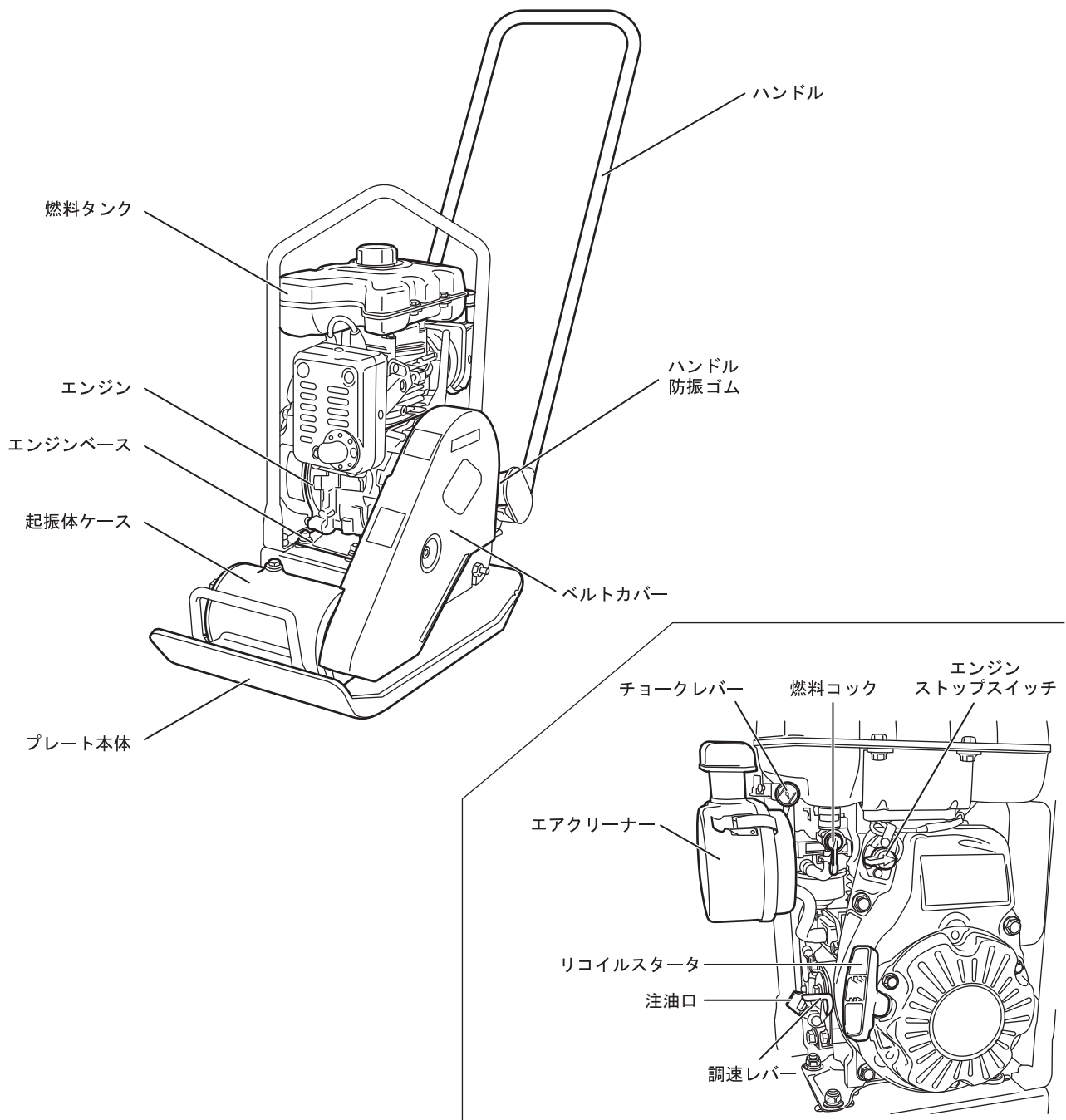
## 警告ラベルの貼付け位置

本機を運転する前に、下記のラベルをよくお読み下さい。



## 2. 各部名称と仕様

### 1. 各部名称



## 2. 仕様

型 式	RM45C
輾 圧 板 寸 法 巾 × 長 (mm)	290 × 470
振 動 数 (Hz)	100
速 度 (m/min)	25
遠 心 力 (KN)	7.5
燃 料 タ ン ク 容 量 (ℓ)	1.5
起振体ケース内のオイル規定量 (cc)	110
使 用 エ ン ジ ン	EH09-2D
エ ン ジ ン 回 転 数 (min <sup>-1</sup> )	3,600
質 量 (kg)	44
全 長 (mm)	880
全 巾 (mm)	290
全 高 (mm)	800
付 属 品	プラグレンチ

※改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

### 3. 始動と運転・停止

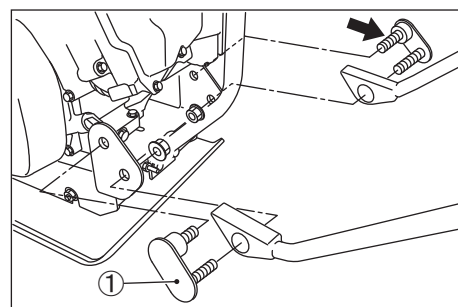
#### 1. 運転前の準備

- 各部分のボルト・ナット類に緩みがないか点検し、緩んでいたらしっかり締付けて下さい。
- 各部に付着している泥、ホコリ、油等を掃除して下さい。特にエンジンのリコイルスタータおよびエアークリーナーの周辺は、きれいにして下さい。

#### ● ハンドルの組立て

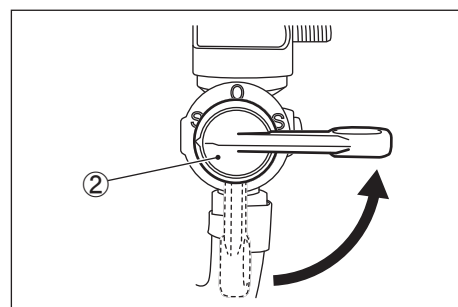
ハンドルを「ハンドル取付」①で本体に取付けて下さい。

スパナの規格：19



#### ● 燃料の点検

- 燃料が入っているか点検して下さい。燃料が少ない時は、無鉛ガソリンを補給して下さい。
- 燃料を入れる時は、燃料コック②を閉じ、燃料がこぼれたらきれいにふき取って下さい。必ず注入口にあるストレーナを通して下さい。



#### ⚠ 危険

燃料は可燃性有毒物です。給油前に巻頭の「安全上の基本的注意事項」をよくお読み下さい。

- 給油する時は、必ずエンジンを止めて下さい。
- 給油の際は、燃料タンクからあふれ出さないよう注意して下さい。
- 給油後は、燃料給油キャップを確実に締めて下さい。
- 燃料がこぼれた時は、きれいな柔らかな布で完全に拭き取って下さい。

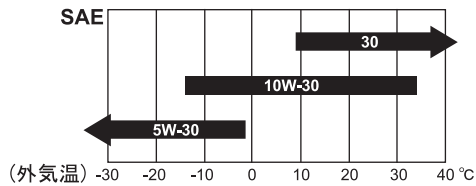
#### ⚠ 注意

- 必ず無鉛ガソリンを使用して下さい。有鉛ガソリンの使用はエンジン故障の原因になります。
- エンジンは規定の回転数で使用して下さい。(規定回転数は5頁の仕様参照。出荷時調整済)  
規定外の回転数で使用しますと、不規則な振動および製品を破損する恐れがあります。

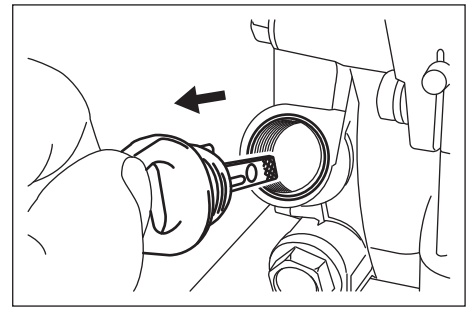
燃料油：無鉛ガソリン  
タンク容量：1.5L

## ● エンジンオイルの点検

エンジンのクランクケース内の潤滑油を検油棒で点検し、不足の場合は補給して下さい。外気温にあわせて次の自動車用モービルオイルを使用して下さい。



検油の方法は注油口に検油棒を差し込み、検油棒をねじ込まない状態で検油します。上のきざみ線が最高油面、下のきざみ線が最低油面です。

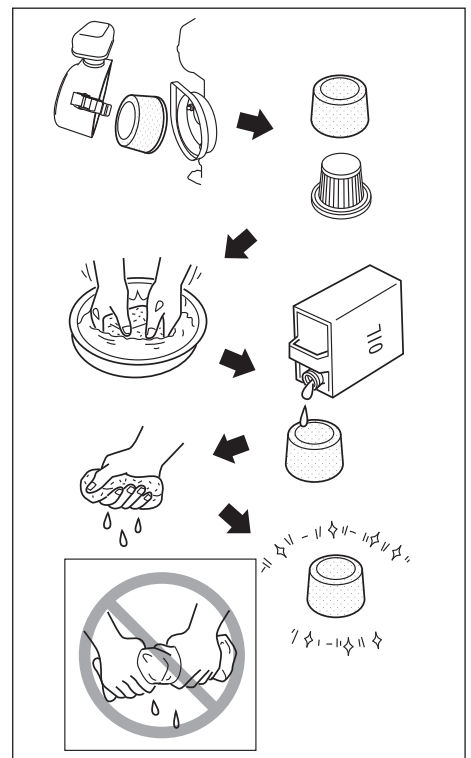
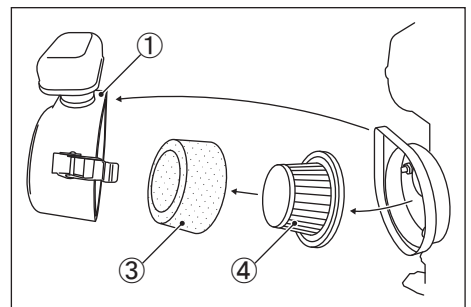
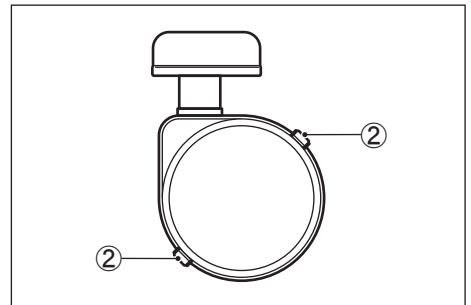


## ● エアフィルタの点検

エアクリーナー内にあるエアフィルタのエレメントに汚れがないか点検します。エレメントが汚れている場合は、清掃して下さい。

## ● エアフィルタエレメントの清掃

- 1) 2ヶ所あるバンド②を外してエアフィルタカバー①を取外します。
- 2) エレメント④からスポンジ③を取外します。
- 3) 溶剤でスポンジ③を洗浄して、乾燥させます。
- 4) スポンジ③に給油し、スポンジから油が落ちない程度に余分な油を絞ります。



### ▲ 注 意

スポンジをしぼるときはスポンジを破損しないように注意して下さい。

### 重 要

エア漏れを防止するために、エレメントの表面とエアフィルタケースをしっかりと密着させて下さい。  
エアフィルタを取付けない状態で絶対にエンジンを始動しないで下さい。エンジン内に埃が入りエンジン内部を損傷させることがあります。

- 5) エレメント④の内部から圧縮空気で吹くか、手で軽くたたいて清掃して下さい。  
またエレメント④のひだに破損がないかも点検して下さい。

### ▲ 注 意

圧縮空気でエレメントを清掃するときは防じんメガネをかけて下さい。

### 重 要

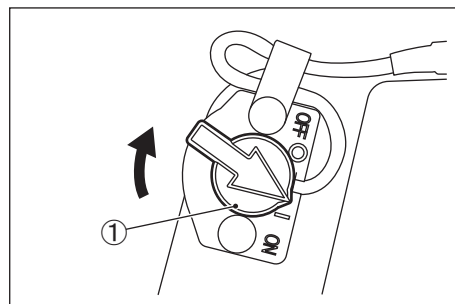
エアフィルタが汚れたままですと、出力が低下するほか、燃料消費量、耐久性にも悪影響を与えます。

- 6) エレメント④にスポンジ③を戻し、元の位置に取付けます。

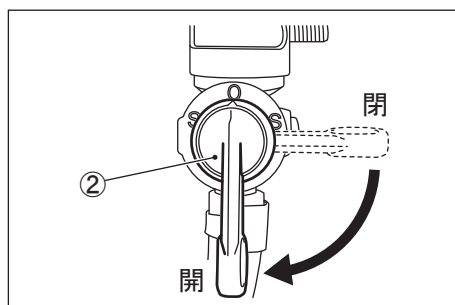
7) エアフィルタカバー①を元の位置に取付け、バンドで固定します。

## 2. エンジンの始動

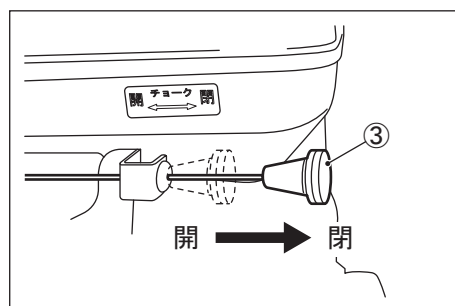
1) エンジンストップスイッチ①を運転側「ON」に回します。



2) 燃料タンクの下への燃料コック②を真下（開）に向け、燃料を通します。



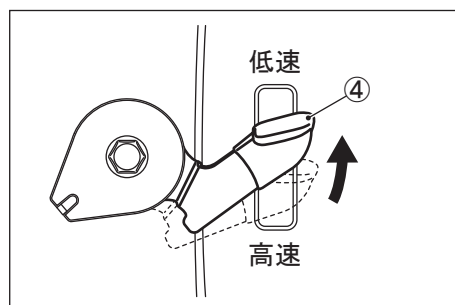
3) 化器のチョークレバー③を閉じます。この時、チョークの開度は、気候が寒い時、又はエンジンの冷えている状態から始動する場合は、全閉もしくは、半開にして下さい。気候が暖かい時、又は運転停止後の暖まったエンジンを再始動する場合は全開もしくは、半開にして始動します。



### 重 要

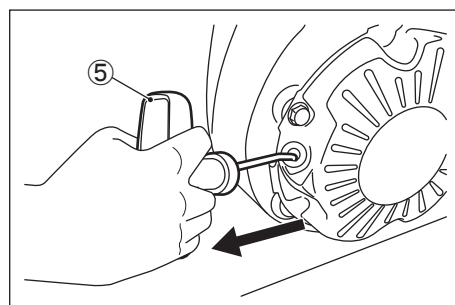
「閉」の位置で長時間運転すると点火プラグがかぶり、エンジンが停止することがあります。適時「開」の位置にして下さい。

4) 调速レバー④を低速状態にして、リコイルスタータ⑤の把手を握り少し引くと軽く手ごたえがあります。そこから勢いよく引くばるとエンジンが始動します。



### ⚠ 警 告

调速レバーを高速回転の位置でエンジンを始動させると、急激に本体が振動を始め、重大な事故を引き起こす恐れがあります。调速レバーが低速位置であることを確認したうえで、エンジンを始動して下さい。



### ⚠ 注 意

エンジンを始動する時は、リコイルスタータ⑤の把手をしっかり握って下さい。機関が不意に反転し、けがをする恐れがあります。

## 重 要

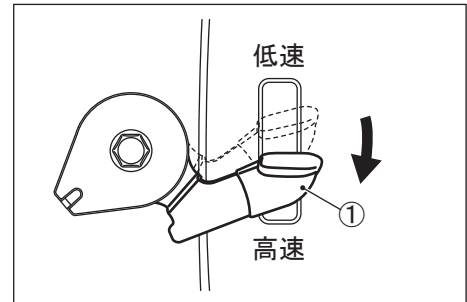
エンジン始動後、リコイルスタータのロープを一杯に引ききらないで下さい。又、引いたリコイルスタータの把手は、その位置から手離さないで、しずかに元に戻して下さい。

- ロープが切れたり、把手が破損する恐れがあります。
- この場合、修理が完了するまで再始動できません。

5) エンジン始動後、チョークレバーを全開にし、2～3分間、暖機運転を行なって下さい。

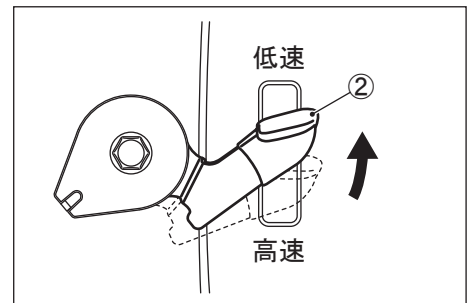
### 3. 運転方法

- 調速レバー①を高速回転の位置にすると、クラッチが働き、本体は振動し、前進を始めます。クラッチが働き始める時は、本体の振動が不規則になりますので、すばやく回転を上げて下さい。
- 作業面の軟弱の程度、又は凸凹に応じて調速レバー①を操作して回転数と進行速度を調整し、最適に運転して下さい。

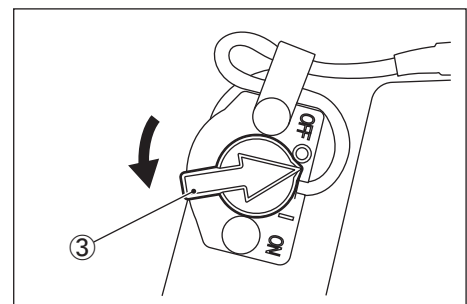


### 4. 運転後の取り扱い

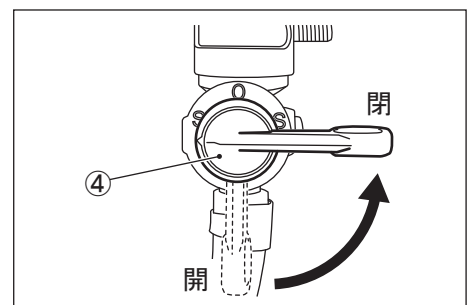
- 作業を終えたら、調速レバー②を低速回転の位置にもどします。クラッチの作動が止まりエンジンのみ回転します。



- エンジンストップスイッチ③を停止側「OFF」に回すと、エンジンが止まります。



- エンジン停止後、燃料コック④は閉じておいて下さい。





- 作業後は必ずきれいに各部を掃除して下さい。  
特に起振体まわりに入りこんだ土砂、石ころは必ず取除いて下さい。

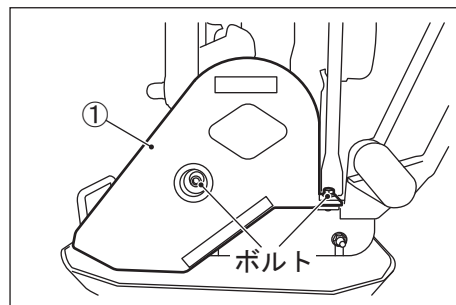
## 5. 調整・整備保守

- エアークフィルタは運転約 10 時間毎に、洗浄して下さい。  
(7 頁参照)
- V ベルトは、20 時間程度で調整を行なって下さい。

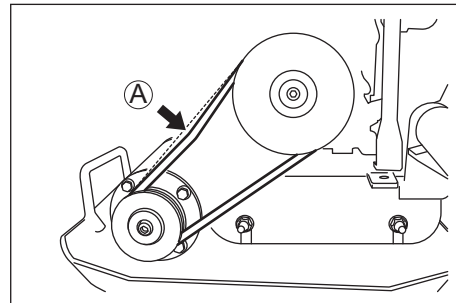
### ⚠ 警告

V ベルトの調整は必ずエンジンを停止して行なって下さい。  
エンジンがアイドリングの状態でもクラッチが働いていなくても、  
誤って调速レバーに触れ V ベルトが動き、人身事故を引き起こす  
恐れがあります。

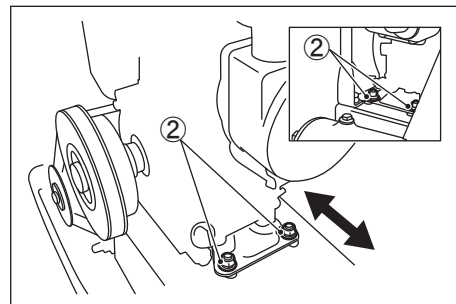
- 1) ベルトカバー固定ボルト (2 ヶ) を外し、ベルトカバー①を取  
外します。



- 2) V ベルトの張り具合は A を親指で押し付けて 10 ~ 15mm たるむ  
程度が最良です。

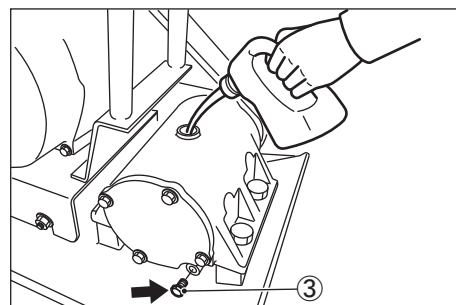


- 3) エンジン固定ナット② (4 ヶ) を弛め、エンジンを後方に引張り、  
V ベルトの張力を調整します。その後、エンジン固定ナット②  
(4 ヶ) を締付け、エンジンを固定して下さい。



- 起振体ケース内のオイルは、約 100 時間毎に、オイルを交換し  
て下さい。  
ドレンボルト③をゆるめ、ボルト穴よりオイルを出して下さい。  
オイルが完全に抜けたら上部プラグより給油を行なって下さい。

オイル種類 : 15W-40  
オイル容量 : 110ml

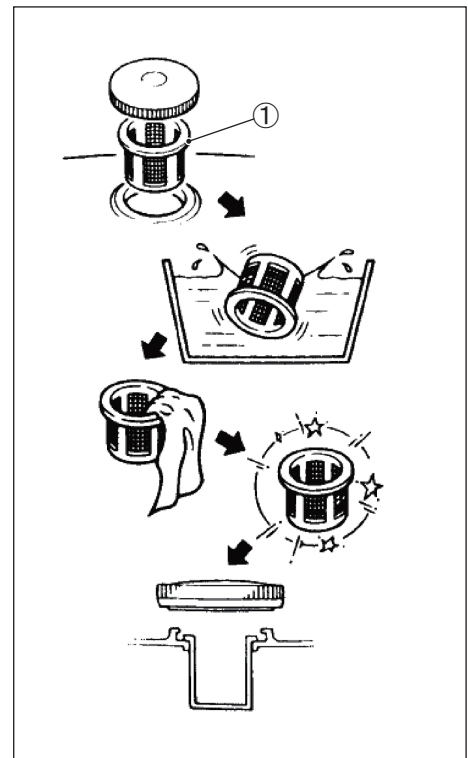


### ● 燃料ストレーナの清掃

- 1) 燃料ストレーナ①のゴミを捨て、白灯油で洗って下さい。
- 2) 燃料ストレーナを燃料タンクに装着して下さい。

#### ⚠ 警 告

燃料タンクキャップは必ずしっかりと締めて下さい。



### ● 点火プラグの点検

点火プラグはエンジンにおける重要部品なので、定期的に点検をして下さい。

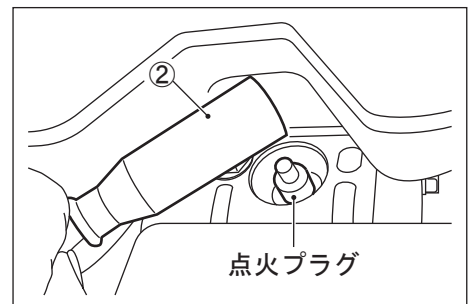
- 1) 点火プラグキャップ②を外します。
- 2) プラグレンチを点火プラグに差し込んで反時計方向に回し、点火プラグを取外します。
- 3) 点火プラグの焼け具合を点検します。  
通常、淡褐色ですが黒くくすぶっていたり、白く焼けている時はエアークリアエレメントを点検します。
- 4) 点火プラグの電極の隙間を点検します。

標準点火プラグ : NGK BMR4A

点火プラグ隙間 : 0.6mm ~ 0.7mm (0.024 ~ 0.028 inch)

#### 重 要

点火プラグの隙間はワイヤ隙間ゲージで測定し、必要に応じて調整します。



- 5) 点火プラグを取付けます。

#### 重 要

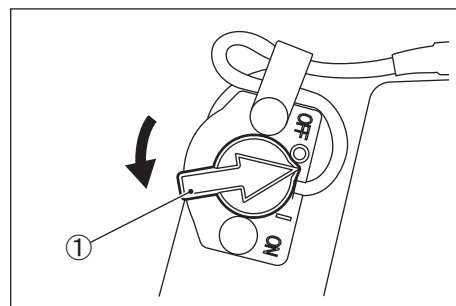
点火プラグを取付ける時はトルクレンチを使用して下さい。

- 6) 点火プラグキャップを取付けます。

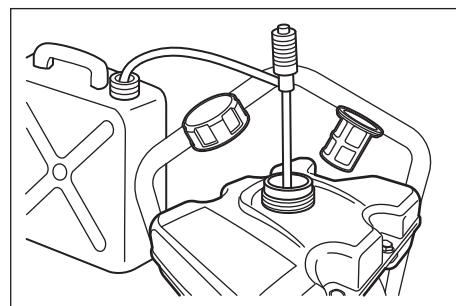
## 6. 保管

### ● 燃料の排出

1) エンジンストップスイッチ①を「OFF」にします。



2) 燃料タンクキャップを開けて、燃料ストレーナを取出します。  
タンクの燃料を全部専用タンクに移し、燃料タンクキャップを元のおり取付けます。



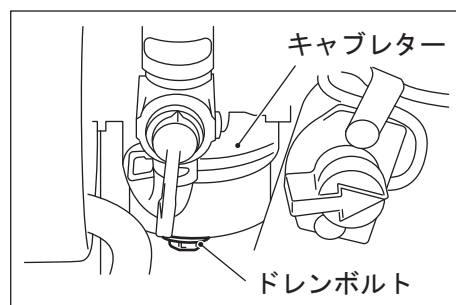
### ⚠ 警 告

燃料油は可燃性有毒物です。作業をする前に「安全上の基本的注意事項」をよく読み下さい。(1 ページ参照)

### ⚠ 注 意

カバーが損傷しないように、こぼれた燃料は柔らかな布で拭き取って下さい。

- 3) エンジンを始動し (8 項参照)、エンジンが停止するまで運転して下さい。
- 4) キャブレターのドレンボルトを緩めて、キャブレターの燃料を専用タンクに排出します。
- 5) エンジンストップスイッチを「OFF」にします。
- 6) ドレンボルトを締めて下さい。
- 7) エンジンが完全冷却した後、燃料タンク下の燃料コックを横にします。



### ● エンジン

長期間保管する時は、下記の手順でケース、ピストンリングなどの腐食しやすい部品を保護します。

- 1) 点火プラグを外し、SAE10W-30 または 10W-40 のオイルを少量注入し、点火プラグを取付けてからスタータ (エンジンストップスイッチを「OFF」にする) を数回引いて、シリンダ内を潤滑させます。  
(シリンダ及びバルブの錆発生防止)
- 2) ロードメイトの外表面を清潔にし、通風良い、乾燥した場所でカバーを覆って保管します。

## 4. 故障対策・付属品

### 1. トラブルシューティング

故障又は不審点		故障の原因	処置の仕方
エンジン関係	○急に停止する。又は始動しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●燃料タンクに燃料が不足</li> <li>●プラグにカーボンの付着</li> <li>●燃料の吸い込みすぎ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●燃料を補給する</li> <li>●プラグの掃除をする</li> <li>●燃料コックを締めてドレンコックをあげ余分な燃料を出す</li> <li>●エアフィルタの洗浄（7頁参照）</li> </ul>
本体関係	○エンジンは回転するが本機が作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●起振体ケース内のオイル量過多</li> <li>●エンジン出力不足</li> <li>●クラッチが滑べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オイル量の確認（10頁参照）</li> <li>●クラッチの分解掃除又は交換</li> </ul>
	○振動が弱々しくなってきた。	●Vベルトの伸びのため動力伝達が不規則になる	●Vベルトの張り直し又は、交換（10頁参照）
	○異常振動が感じられる。	●防振ゴム等に変形や摩耗が生じている	●防振ゴムの交換
<b>重 要</b>			
防振ゴムに変形や摩耗が生じたまま使用しますと異常振動のためエンジン、製品本体の性能が著しく低下したり、作業面の仕上り精度も悪くなる恐れがあります。 この様な場合は防振ゴムを新品に交換し、異常振動のないことを確かめて下さい。			

### 2. 付属工具

- 取扱説明書
- エンジン工具一式

## ロードメイト RM45C 保証書

本保証書は日本国内のみ有効です。This Warranty is valid only Japan

お客様の正常なご使用において万一故障が発生した場合は、当保証書記載の規定により、無償で交換または修理させていただきます。

1. 保証期間内（お買上げ日より6ヶ月間）に正常なご使用状態において万一故障が発生した場合は、無償で交換または修理させていただきます。その際はお買上げの販売店にご連絡下さい。
2. 次のような場合には保証期間内の故障でも有償とさせていただきます。  
(郵送料等諸掛りはお客様のご負担となります。)
  - 1) 本保証書にお買上げ日及び販売店名の記入・捺印が無い場合。
  - 2) 誤用・乱用及び取扱不注意、取扱説明書の禁止事項による故障又は損傷の場合。
  - 3) 弊社指定の販売店以外での修理・改造・分解が行われた場合。
  - 4) 火災・地震・水害及び盗難等の災害・不適切は移動・落下などの場合。
  - 5) 使用中に生じたキズ・汚れなどの外観上の変化、ガソリン・エンジンオイルなどの汚れ。
  - 6) 付属品の交換。
  - 7) 原因が本製品以外に起因する場合。
  - 8) 本保証書の指示がない場合及び必要事項の記入が無い場合。

製品名	RM45C	本製品番号	
お客様	ご住所 〒		
	ご氏名		
お買上げ日	年 月 日	保証期間	お買上げ日より6ヶ月間
販売店	ご住所 〒		
	ご氏名		

本保証書は製品番号、お買上げ日、販売店の記載がない場合は、無効とします。

必ずご確認ください、記入なき場合はお買上の販売店にお申し出下さい。

この保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償で交換又は修理をお約束するものです。

したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。





**WAKITA MASALTA**

 **株式会社 ワキタ** 滋賀工場

TEL 0748-75-2171 FAX 0748-75-0294